

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

(分類A.11.0.25-2.)

昭和7 三〇五五 略 南京 本省 二月 六日後發 七日後着 亞

芳澤外務大臣 上村總領事代理

第一三六號

蘇州宛拙電第一及第二號ニ關シ

一、柳原及皆川ハ憲兵司令部高級副官及四名ノ憲兵ト共ニ一車ヲ借切リ四日午前十時上海發(途中ハ車ノ鎧戸ヲ全部閉メ切り車室ノ出入口ヲ憲兵ニテ固メタリ)五日午前二時半漸ク蘇州着南京行ノ夜行ヲ待チタルカ果シテ運行スルヤ否ヤ判明セス又午後ノ列車ニハ南京行ノ列車ナカリシ爲午後二時發鎮江行ノ列車ニ乗込ミタリ
二、當方ニハ右ニ關シ憲兵司令ヨリ通知アリ又蘇州ヨリモ電報アリタ

外務省

S

11108

0772

0076

ルニ依リ憲兵司令及外交部ニ對シテハ鎮江停車場ヨリ「ハルク」迄ノ護衛方鎮江當局ニ訓令ニル様依頼シ一方在鎮江常館寺西巡查ニモ手配方電報シ置キタルニ依リ一行五日午後十一時半鎮江へ歸着ト共ニ寺西及公安局巡警約二十名之ヲ出迎へ安全ニ日清「ハルク」ニ送り直ニ軍艦望月ニ收容セラレタル趣ナリ尙雲陽丸ハ狹隘ニテ一行ヲ收容スルコト困難ナルニ依リ六日南京ヨリ下江ノ英國船「ボーヤン」號ニ鎮江ヨリ乗船直接上海ニ引揚シムル様手配セリ
他方柳原及皆川ハ同行ノ憲兵高級副官ノ斡旋ニ依リ鎮江止ノ列車ヲ特ニ南京迄運行セシメ六日午前四時當地着夜明ヲ待テ無事歸船セリ
三、蘇州ニ於テハ上海ヨリノ避難民殺倒シ人心動搖シ居ル上五日午前八時頃ニハ日本飛行機一臺同地ニ飛來シタル爲在留邦人一同極度ニ

外務省

S

11108

0773

0077

寫送先

類 1110.25-2

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

昭和7 三〇八一 暗

上海 本省

二月七日 午後

亞

芳澤外務大臣

重光公使

第一一八號

川南ヨリ左ノ通

本官一行三十一名、鎮江三名トモ無事七日正午到着セリ電信符號及
關係書類ハ出發前全部燒棄シ御眞影ハ不取敢上海總領事館ニ奉安セ

南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

不安ノ念ヲ懷キ居タルカ支那側官憲ノ頗ル手厚キ保護及配慮ニ依リ
無事引揚ケ得タルヲ感謝シ居タリ
支、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東ニ轉電セリ

外務省

外務省

S 11108

0775

0079

S 11108

0774

0078

電信寫

昭和7

略

上海
本省

二月八日後着

人

芳澤外務大臣

第一二八號

重光公使

川南ヨリ左ノ通り

本官及館署員家族ヲ便船次第歸國セシメ度シ右御承認ヲ請フ

榮再回

吉

S

11108

0776

0080

REEL No. A-0071

0219

アジア歴史資料センター

今西の梅解の機会を惜み、其部が元氣者
 法を南いふとのやが、イザと云ふと、さうして、いかに
 色々あふむる情報に、當面から妙々打つたか、
 五、其のなかに、腕の腕、腕、腕、追つ、拂つ、おし、
 少く、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、
 は、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、
 の、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
 結、結、結、結、結、結、結、結、結、結、
 は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
 かし、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、

園田用箋

S 11108 0778 0082

三浦洋行

今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、
 試、試、試、試、試、試、試、試、試、試、
 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 足、足、足、足、足、足、足、足、足、足、
 和、和、和、和、和、和、和、和、和、和、
 出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、
 と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、
 か、か、か、か、か、か、か、か、か、か、
 り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、

園田用箋

S 11108 0777 0081

わうし最通の海外を為民は暇か女を新エのみに
雲の徳向かきよりは遺識のすし一十事わし平帯は
ゆるねに事ぬえを述むか否に奉るはゆるねに
す運中かやいと高に按脚を足せり遊程短き
お陸を過つたうすうは男に録かゆりもよくあか
ち小いし 松島を押出さる力と子か女にしりか
かすのは神に作書を著すものありきりぬい
ゆる中味を打らば之を絶し一十事一極方時者に書
いそきますのむゆあひるい

園田用箋

S 11108 0780 0084

川舟之にふしつたの難取に餘念のし時来らば人後
にいらん此舟午飯は親えとのやると計画廿二
そよまゆ足つ録かゆ地帯に比しそ方即人の退
性上常人の原標に思ふまじるか即應にふりか新
人運送の三不場亦も法倉敷のの琦吉録殿 赤に
約田五右の勝不の住りまののり有場主人君
引物振目三述不場五田録丁とよさき之小は
時高柳田三二居りまか或は誤不場録の
有田まきし 弊の事録か七一録初に運上りゆをぬか
とつ今えぬとゆきとゆき 柳田中一お平のそ

園田用箋

S 11108 0779 0083

(分類ノ.....)

送第 3140

7 2 8 7 7

電 信 案	平 第 號	件 大泉長 宮城縣仙台市厚町二二 大泉長四郎	管主 任主 信崎 (起草昭和昭和十年二月八日)
		名込綴 發 芳沢不務大五	
外 務 省	大泉ハ七日無事上海ニ引揚グ		

3.2

S

11108

0784

記

0088

電信課長

電信案

(原議用紙甲)

(分類ノ.....)

送第 3139

7年2月8日 7時0分

電 信 案	平 第 號	件 宮崎ハ七日無事上海ニ引揚グ 佐加貝縣藤津郡西嬉野町下宿 三五四一 宮崎軍八	管主 任主 信崎 (起草昭和昭和十年二月八日)
		名込綴 發 芳沢不務大五	
外 務 省	宮崎ハ七日無事上海ニ引揚グ		

3.2

S

11108

0783

記

0087

電信課長

電信案

(原議用紙甲)

分類 11.0.25-11

電送第 3143 號
昭和7年2月8日 行

電 信 案	平 第 號	件	管主
		宛	任主
外 務 省	引田ハ七日並事上海ニ引揚グ	鳥取縣東伯郡中北条村	(起草昭和昭和7年2月8日)
		發	(原議用紙甲)
		名込綴	
		發	
		引田北	
		田是吉	
		引田ハ七日並事上海ニ引揚グ	

3.2 S 11108 0786 0090

分類 11.0.25-11

電送第 3141 號
昭和7年2月8日 行

電 信 案	平 第 號	件	管主
		宛	任主
外 務 省	澤島ハ七日並事上海ニ引揚グ	澤島三左衛門引揚ニ系充件	(起草昭和昭和7年2月8日)
		發	(原議用紙甲)
		名込綴	
		發	
		澤島三左衛門引揚ニ系充件	
		澤島ハ七日並事上海ニ引揚グ	

3.2 S 11108 0785 0089

分類 1110.95-2

電送第 3146 號
7年2月8日 7時30分

電 信 案	カ ミ ラ 上 村 ハ 七 日 無 事 上 海 ニ 引 揚 グ	宛 鹿 見 島 縣 日 置 郡 伊 集 院 所 下 谷 口 上 村 清 藏	件 上 村 ハ 七 日 無 事 上 海 ニ 引 揚 グ ニ 關 ス ル 件	管 主 任 主 岩 崎 宗 一 郎 (起 草 昭 和 十 年 一 月 八 日) (原 議 用 紙 甲)
		平 脚 第 一 號	發 送 名 込 綴 岩 崎 宗 一 郎	

3.2 S 11108 0788 0092

分類 1110.95-2

電送第 3142 號
7年2月8日 7時30分

電 信 案	カ ミ ラ 坂 本 ハ 七 日 無 事 上 海 ニ 引 揚 グ	宛 宮 崎 縣 西 臼 杵 郡 岩 戸 村 天 生 岩 戸 五 七 五 七 坂 本 寅 四 郎	件 坂 本 ハ 七 日 無 事 上 海 ニ 引 揚 グ ニ 關 ス ル 件	管 主 任 主 岩 崎 宗 一 郎 (起 草 昭 和 十 年 一 月 八 日) (原 議 用 紙 甲)
		平 脚 第 一 號	發 送 名 込 綴 岩 崎 宗 一 郎	

3.2 S 11108 0787 0091

分類 11.10.25

電送第 3144 號

昭和二十年二月五日 午前七時三十分發

電 信 案	フル カワ	平 第 號	件 京都府宇治郡宇治村字五 宛ケ庄 古川ミナ 古川ハ七日無事上海ニ引揚グ	主 任 管 主 (起草昭和昭和二十年二月八日付)
-------------	----------	----------	---	--------------------------------

3.2

S 11108

0790

0094

(原議用紙甲)

分類 11.10.25

電送第 3145 號

昭和二十年二月八日 午前七時三十分發

電 信 案		平 第 號	件 兵庫縣多可郡中野野 宛 六六 柏原素右衛門 柏原ハ七日無事上海ニ引揚グ	主 任 管 主 (起草昭和昭和二十年二月八日付)
-------------	--	----------	--	--------------------------------

3.2

S 11108

0789

0093

(原議用紙甲)

分類 A. 1. 10. 20

電送第 3138

昭和2年2月8日 7時0分

電 信 案 第	園 田 ハ 七 日 無 事 上 海 ニ 引 揚 グ	宛	能本市坪井妙体寺町七一	件	園田警部蘇州引揚ニ関スル件
		平 第 號	園田ハル正	送 上 海 に 在 る 日 文 衛 安 身 委 任 係 員 名 在 留 邦 人 保護 引 揚 難 々 に 関 ス ル 件	管 主 任 人 事 課 長 任 主 任 信 崎
外 務 省			發 芳 沢 外 務 大 臣		

電信課長

電信案

(起草昭和七年二月八日)

(原議用紙甲)

3.2

S

11108

0791

記

0095

REEL No. A-0071

アジア歴史資料センター

11108-25-2

オシラセヨシマスソノダ ハルエ

ヨシサ
ワガ
イムダ
ガ
イムシヨウ

1143

ニ
三
一五
クマモトツホ
一四
九、二九

セ
ノ
ニ
〇



昭和七年
拾日



11108

0792

0096

REEL No. A-0071



アジア歴史資料センター

普通第七八號

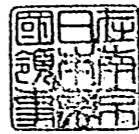
昭和七年二月九日

在南京

領事

上村

伸一



別紙添付

昭和七年三月廿一日



上海事件

外務大臣 芳澤謙吉 殿

蘇州在留官民引揚ニ關スル件

蘇州在留官民引揚ノ爲四日同地ニ派遣シタル當館柳原書記生及皆川
巡查ハ已報ノ通り六日朝無事歸還シタルニ付右ニ關スル兩人ノ報告
御参考迄別添送付ス

本信寫送付先 公使 上海 北平 奉天

在南京日本領事館



11108

0793

0097

蘇州在留官民引揚ノ爲蘇州出張報告書

在南京領事館

外務書記生 柳原敏一

外務省巡查 皆川雅雄

右兩名ハ二月三日夕刻蘇州在留官民引揚ノ爲同地ニ急行ヲ命セラレ
憲兵司令トノ打合セニ基キ同日午後十時南京發ノ豫定ニテ同司令部
ヨリ派遣セラレ同行スルコトニナリタル憲兵司令部高級副官徐藩氏
ト三日午後九時日清「ハルク」ニ落合ヒタル處生憎右夜行列車ハ出
發中止トナリタル事判明シタルト他方軍艦接受ノ上海某方面放送ノ
「ラデオ」ニ依リ蘇州在留邦人四名ハ二日慘殺セラレタル趣傳ヘラ
レ同地方事態ノ急迫セルコトヲ豫想セラレタルヲ以テ直ニ徐副官ニ



11108

0794

0098

在南京日本領事館

對シ憲兵司令部ヨリ長距離電話ヲ以テ蘇州在留邦人慘殺ノ眞否調査方ヲ依頼シ其ノ返報ヲ俟ツテ翌四日午前出發スルコトニ打合セテ遂ケ一旦雲陽丸ニ引返セリ。次テ翌四日早朝憲兵司令部ヨリノ回報ニ依リ蘇州邦人ノ慘殺說ハ事實無根ナルコト判明シタルヲ以テ直ニ前夜ノ打合セ通り四日午前十時徐副官並ニ護衛憲兵四名ト共ニ日清「ハルク」ヲ出テ下關驛ニ至リ蘇州ニ向ケ出發セリ。

現在滬寧鐵路ハ運行全ク不確實ニテ一日約三回南京、南翔間ヲ往復シ居レルモ運轉時間モ平常ノ三倍近クヲ要シ居ル有様ニテ前進意ノ如クナラス又車中飲食物ノ供給ナキハ勿論暖房ノ設備モナク加フルニ寒氣甚シク頗ル困難ヲ感シタルカ途中各驛ハ全ク非常時ノ状態ニシテ南京駐屯ノ第八十七、八十八師（舊警衛軍）ヲ滿載セル軍用列

在南京日本領事館

S

11108

0795

0099

車ハ續々南下シツツアル爲萬一ノ危險ヲ慮リ小職等ノ乗込ノ車輛ハ注意ヲ惹カサル様兩側ノ窓ハ鎧戸ヲ下シ兩側入口ニハ衛兵ヲ附シテ嚴重乗客並ニ兵士ノ出入ヲ禁シ一車借切りノ儘ニテ警戒セラレタリ尙滬寧線ハ上海ノ事變ト南京ノ砲撃事件（二月一日夜）トニ依リ兩地向ノ乗客全ク杜絶シ僅ニ兩地ヨリノ避難民カ鎮江經由運河ニテ揚州以北ニ赴クモノ少數アル以外沿線一帶寂寥ヲ極メ居レリ。

斯クテ小職等ハ途中十數時間ヲ要シ五日午前一時半漸ク蘇州驛ニ到着（平常ハ南京蘇州間六時間）馬車ニテ領事館ニ向ヒタルカ同地ハ戒嚴令下ニ在リ深夜ノ通行ノコトトテ幾度カ誰何停止ヲ受ケタルモ憲兵ノ保護アリタルヲ以テ幸ヒ事ナキヲ得同夜二時半無事領事館ニ到着セリ。

在南京日本領事館

S

11108

0796

0100

一方蘇州領事館ニ於テハ川南領事始メ居留民一同ハ遲着ヲ氣遣ヒ居ラレタル處無事着セルヲ以テ小職等ハ一同ノ歡喜ニ迎ヘラレタルト共ニ相共ニ其ノ無事ヲ祝シ感慨無量ナリキ。然ルニ蘇州方面ニ於テハ毎日蘇州河ニ依リ上海方面ヨリノ避難民殺到シ人心日ニ險惡ニ向ヒツツアル模様ナル爲引揚ニ際シ若シ是等避難民等ニ知悉セラレタル場合如何ナル事故發生スルヤモ計リ難ク旁々引揚ニ付テハ支那人ノ注意ヲ惹カサル様乗車スルコトヲ適當ト認メ徐副官トモ協議ノ上大体五日夜行ニテ出發スル事ニ豫定シ置キタリ。然ル處引揚未了ノ際早クモ四日夜ニ於テハ日本ヨリノ「ラヂオ」ニ依リ蘇州在留官民一同ハ同日已ニ南京ニ無事引揚タル旨放送セラレタルヲ以テ在留民ハ之カ爲邦人ノ引揚ニ關シ支那側官民ヲシテ無用ノ注意ヲ喚起セシ

在南京日本領事館

S 11108 0797

メタルヲ遺憾トシ引揚ノ前途ヲ懸念シ居タルニ更ニ五日朝ニ至リ支那人ノ最モ恐怖シ居ル飛行機一臺蘇州上空ニ現ハレ其ノ行動頗ル機敏巧妙ナリシヲ以テ右ハ日本側ノ偵察機ナリト一般ニ信セラレ在留民ノ不安益々加ハリ引揚カ果シテ圓滿ニ出來ルヤ否ヤニ付一同憂慮スルニ至レリ。是ヨリ先蘇州到着ト同時ニ徐副官ニ對シテ歸寧列車ノ出發時間ノ決定並ニ引揚官民ノ乗車迄ノ沿道及驛附近ノ警戒保護方ニ付在蘇州憲兵團長（第一及第三團）及蘇州驛長等ト打合方ヲ依頼シ前述ノ通り大体五日午後六時頃出發豫定ノ夜行列車ニ乗込ム事ニ打合セ置キタル處同日正午頃ニ至リ右夜行列車運行判然セサル趣ナリシヲ以テ若シ此ノ際一日ニテモ出發ヲ遲延セシムルコトハ益々引揚ノ困難ヲ加フル虞アリ且又近々帝國陸軍ノ上海出動説モアリ其

在南京日本領事館

S 11108 0798

0101

實現ノ際ニ於ケル支那軍民ノ動搖等ヲ顧慮シ一刻モ早ク引揚ヲ完了スルヲ得策ト思考シタルヲ以テ適々同日午后三時鎮江迄ノ列車アルコト判明セルニ付早速川南領事ト相談ノ上兎ニ角鎮江迄同列車ニ乗込ム事ニ決定シ其ノ手配方徐副官ニ依頼シタルカ川南領事ヨリモ勿論縣長、公安局長ニ對シ豫テノ諒解ニ基キ萬事引揚保護ノ手配ヲ打合セラレタリ。茲ニ於テ在留邦人、館員一同至急用意ヲ整ヘ陸路ニ依ル危險ヲ慮リ豫テ領事館ニテ用意シアリタル曳船ニ乗込ミ公安局差廻シノ巡警護衛ノ下ニ水路蘇州驛ニ向ヒ驛前ニ於テハ支那群衆接近シ來レル爲特ニ豫メ手配シアリシ武裝巡警並ニ憲兵各一小隊ノ保護ニ依リ引揚民一行ノ携帶品ノ積込並ニ一行ノ乗車ヲ完了シ借切リ車輛ノ鐵戸ヲ下シ兩側入口ニ憲兵一小隊約二十五名ヲ乗込マシメ其

在南京日本領事館

S 11108 0799 0102

嚴重警戒ノ下ニ午后三時過無事鎮江ニ向ケ出發シタルカ驛頭ニハ吳縣縣長、憲兵第三團副團長、公安局長代理等來着シ川南領事等ヲ見送リタルハ時局柄特ニ注意ヲ惹ケリ。車中ハ固ヨリ「ステーム」ノ設備モナク三日以來ノ降雪ノ爲寒氣甚シク且ツ車内食堂モナカリシ爲一行ハ豫メ用意シ來レル冷キ握飯ニ飢ヲ凌キツツ一路鎮江ニ向ヒタルカ事變ニ依ル引揚者ノ困苦ハ實ニ當事者ナラテハ味ヒ得サルモノアルヲ思ハシム。汽車ハ漸ク五日午後十一時半無事鎮江ニ到着シタルカ蘇州出發前豫メ川南領事ヨリ上村南京領事宛鎮江着後ノ手配方依頼シアリタル爲驛頭ニハ鎮江出張中ノ南京領事館寺西巡查、鎮江碇泊驅逐艦望月ノ通譯及同地公安局巡警約二十名ノ出迎ヲ受ケ蘇州引揚官民三十一名ハ茲ニテ下車沿道巡警ノ保護ニテ無事驅逐艦望

在南京日本領事館

S 11108 0800 0103

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

(分類) A-1110.25-2

大臣
次官

電信課長

昭和7 三七〇五 暗

上海 十三日後發
本省 二月十三日後着

亞

芳澤外務大臣

重光公使

第一八二號

本使發南京宛電報

第一七八號

川南ノ報告ニ依レハ蘇州領事館及在留民ノ引揚ハ準備ノ暇ナカリシト
ト經路ノ關係トニ依リ荷物ノ攜帶不可能ナリシ爲財產ノ殆ト全部ヲ
殘留スルノ外ナカリシ趣ニテ之カ保全方ニ就テハ各戸ノ内部ニ領事
館外部ニ公安局ノ封印ヲ施シ中國側カ責任ヲ以テ保管スルコトニ取
極メ右ノ趣旨ノ公文ヲ交換ノ上之ヲ實行セシメタリトノコトナリ(財

外務省

S 11108

0802

0105

8

月ニ收容セラレ翌日下江ノ豫定ナリシ太古洋行汽船潘陽號ニテ上海
ニ向フ事トナリタリ。次ニ小職等二名ハ其ノ儘鎮江ニ下車ノ豫定ナ
リシカ特ニ徐副官ノ計ヒニテ特ニ一車ノミヲ其儘南京ニ護送スル事
ニ驛長ノ承諾ヲ得蘇州ヨリ乘組ミタル憲兵一小隊ト共ニ軍用列車ト
シテ南京ニ向ケ出發シ六日午前四時南京着夜明ケヲ待ツテ無事雲陽
丸ニ歸還セリ。

(以上)

在南京日本領事館

S 11108

0801

0104

産目録ノ見證ハ實地検査ノ暇ナカリシ爲支那側應諾セス然ルニ目
下同地ハ軍隊移動頻繁ニ行ハレ居ルニ加ヘ上海方面ヨリノ避難民殺
到シ混亂シ居ルカ如ク縣政府ニ於テハ充分ニ責任ヲ盡スヘキモ萬一
ノ場合公安局ノ威力ハ全然軍權ニ及ハサルヘク旁甚タ心許ナク感セ
ラルルニ付此ノ際貴官ヨリ公使館覺書ヲ以テ中央軍部ヨリ蘇州軍憲
ニ對シ邦人殘留財産ノ保全方縣政府ト協力シ遺漏ナキ様措置スヘキ
旨ノ訓令ヲ發スル様外交部ニ申入レラルルト共ニ谷正倫邊ニモ篤ト
事情説明シ置カレ度シ

大臣へ轉電シ上海川南ニ轉報セリ

外務省

S

11108

0803

0106

REEL No. A-0071

0234

アジア歴史資料センター

詳細要聞

臨機密第三號

昭和七年二月十三日

在蘇州（上海滯在）

領事代理 川 南省

外務大臣 芳 澤 謙 吉 殿

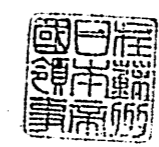
蘇州在留邦人ノ殘留財産保管方ニ關スル件

蘇州在留邦人ノ引揚ハ時間的ニ準備ノ餘裕ナカリシト（一月二十七日午前一時突如上海總領事ヨリノ急電ニ接シ即刻在留民ニ引揚ヲ勸告同日午前中ニ婦女子全部ト男子大人七名計七十八名出發殘留者三

在上海日本總領事館

別紙添付

上海事件
居留民保護
昭和七年參月壹日



別紙添付
省

1110-21-1

十一名ハ二月五日鐵路鎮江ニ出テ同地ヨリ汽船ニテ七日着滬（經路ノ關係ニテ荷物ノ携帶不可能ナリシ外在留邦人全部ノ引揚ハ工場職工等ニ生活ノ脅威ヲ與フル結果昭和二年ニ嘗メタル事態ヲ再ヒ繰返ス處アリトテ婦女子ノ引揚當時モ極力目立タサル行動ヲ執リシ爲領事館ヲ始メ財産ノ殆ムト全部ヲ殘留スルノ外ナカリシカ之カ保管方ニ就テハ婦女子出發以來屢次中國官憲ト接洽シ豫メ諒解ヲ得置キタルヲ以テ二月五日本官出發ニ先立チ公文ヲ以テ吳縣々政府ニ對シ財產目錄（滿洲事變ノ波及ヲ慮リ萬一ノ場合ニ備フル爲客年九月二十日大日在留民ヲシテ提出セシメタルモノニシテ今次突嗟ノ際之カ訂正不可能ナリシヲ以テ其ノ儘中國側ニ提出セリ）ノ檢證ヲ求ムルト共ニ之カ保全方ヲ要請セルトコロ財産目錄ノ檢證ハ中日兩官憲會同實

在上海日本總領事館

S 11108

0805

0108

S 11108

0804

0107

地検査後ニアラサレハ受諾スルヲ得サルノミナラス之カ實行ニ就テ
ハ一應省政府ニ請訓ノ要アリト主張シ俄ニ態度ヲ變シテ肯セス斯ク
テハ本官出發迄ニ解決ヲ見ルコト困難ナリシニ依リ已ムヲ得ス各戸
ノ内部ニ領事館ノ封印ヲ外部ハ公安局ヨリ封印ヲ施スコトトシ汽艇
ハ(領事館一隻瑞豐絲廠一隻)別ニ方法ヲ設ケ公安局ニ於テ完全ニ
保管スルコトニ協定ヲ遂ケ別紙甲號寫ノ通公文ヲ以テ申入タルニ對
シ別紙乙^號寫ノ通回答ヲ取付ケタルカ公安局ノ封印實行ハ本官離任迄
ニ間ニ合ハサリシニ依リ已ムヲ得ス警察通譯林甲ヲシテ立會ハシム
ルコトトセリ(本官出發間際ニ至リ公安局第三科長張一新來館セル
ニ付林通譯ヲシテ同科長ヲ邦人各戸ニ案内セシメ封印ノ實行ニ立會
ハシメタリ)尙領事館ノ看守ニ就テハ公安局ヨリ巡警ヲ派シ領事館

在上海日本總領事館

S 11108

0806

0109

留守番ト共ニ見張りヲナス様別紙丙號寫ノ通申入レ別紙丁號寫ノ通
回答アリタリ
敝上ノ通殘留財産ノ保管方ニ就テハ吳縣々政府ニ於テ充分ニ責任ヲ
負フコトニ誓約セルヲ以テ今後上海方面ノ戰禍波及シ蘇州地方ノ治
安紊亂セサル限り先以テ安全ナルヘシトハ察スルモ現在同地方ハ軍
隊移動頻繁ニ行ハレ居ルニ加ヘ上海地方ヨリノ避難民殺倒シ相當混
亂シ居ルヤニ聞及ヘルヲ以テ果シテ安全ニ保持シ得ラルルヤ懸念セ
ラル
右報告ス

本信寫送付先 在華公使 上海 南京

在上海日本總領事館

S 11108

0807

0110

館事領總本 海上在

(甲號寫)
 逕啓者本官近日督率館員及在蘇僑民暫時離蘇一俟平穩
 時即行歸任至離蘇後所有餘留本領事館及僑民等一切財
 產除本領事館簽條按家封在外應請
 貴政府飭令公安局立即加封還請竭力保護以備安全毋任
 盼禱相應函達希即
 查照還請
 見復為荷此致
 吳縣之長吳

駐蘇日本領事官川南者二月四日
 開列加封僑民戶數地址如左
 回春藥房 閩門外大馬路
 廣濟藥房 閩門外大馬路

5

11108

0808

0111

館事領總本日海上在

東洋堂	閩門外大馬路
東來醫院	城內因果巷
三十七戶	本租界內
本館汽油船一艘	靠在本租界沿河
瑞豐輪船汽油船一艘	全上

5

11108

0809

0112

館事領總本日海上在

査照爲荷此致										
駐蘇日本領事館川南										
	吳 葭									

S

11108

0811

0114



館事領總本日海上在

(乙號寫)										
逕復者案准二月四日										
函開本官近日督率領館負暨在蘇僑民暫時離蘇一俟平穩										
時即行歸任並離蘇後所有餘留本領事館及僑民一切										
財產除本領事館簽條按家封存外應請貴政府飭令										
公安局立即加封並竭力保護以備安全毋任盼待相應										
函達希即查照還祈見復等由並開列加封僑民戶數船隻										
地址列表在此查										
貴領事及僑商房屋均既在										
貴領事聲明自行簽條按戶封存諸君務請加封保護										
自可照辦除令行公安局即到遊派委員隨帶封條前往										
會同辦理並務飭主管分局妥爲保護外相應函復										
諸項										

S

11108

0810

0113



寫

館事領總本日海上在

(丙號寫)

逕啟者本官督率館員離蘇後館內無人維持頗覺不安
用特函請

貴政府飭令公安局立即派警來館住宿與本館留守貴國
人三名輪流代為看管並在本館外東西十字路口分立
崗位餘請晝夜檢梭巡維持一切尚有本館櫻丸汽油船
一艘瑞豐絲廠汽油船一艘還祈特別保護俾免意外相應
函達希請

查照辦理為荷此致

吳縣々政府

駐蘇日本領事館 二月四日

S

11100

0812

0115

寫

館事領總本日海上在

(丁號寫)

逕復者案查

公函內開本官督率館員離蘇後館內無人維持頗
覺不安用特函請貴政府飭令公安局立即派警來
館住宿與本館留守貴國人三名輪流代為看管
並在本館外東西十字路口分立崗位餘請晝夜檢梭
維持一切尚有本館櫻丸汽油船一艘瑞豐絲廠汽油船
一隻還祈特別保護俾免意外相應函達即希查照
辦理為荷等因准此除令公安局遵照辦理外相應復請
查照此致

駐蘇日本領事館

吳縣々政府 二月四日

S

11109

0813

0116